

三学会九州支部長および庶務幹事会議報告

日時：2011年5月22日

場所：長崎大学教育学部

出席者（敬称略、順不同）：飯田弘（動物学会支部長）、高野博嘉（植物学会支部長）、澤進一郎（植物学会庶務幹事）、江口和洋（生態学会庶務幹事）、金子たかね（動物学会庶務幹事）

植物学会からの報告

- ・ 2011年12月31日をもって日本植物学会九州支部は廃止され、2012年1月1日から新たに「九州沖縄植物学会」を立ち上げる。
- ・ 2011年12月31日に日本植物学会九州支部会員であった者は全員、「九州沖縄植物学会」の会員となり、「九州沖縄植物学会」の会員を希望しない者は、退会届けを提出しなければならない。
- ・ 「九州沖縄植物学会」は、任意団体（賛同者の集合体）であり、将来的に学術団体にしていく可能性がある。
- ・ 「九州沖縄植物学会」は、今までの日本植物学会九州支部の活動を基本的に継続する。三学会合同大会および例会も、今まで通り参加する。

三学会合同大会の開催県ローテーションについて

- ・ 生態学会から「三学会合同大会で福岡県開催が3年に1回では福岡県の負担が大きいため、福岡県開催を減らして欲しい」という要望があることが改めて報告された。ただし、県によっては会員数が少なく、特に大学教員の会員が少ないところは負担が大きくなるため、福岡県にも会員数が少ない県にも許容されるであろう「福岡県開催を5年に1回にする」案が、改めて動物学会と植物学会に提案された。
- ・ 「福岡県開催を5年に1回にする」ことに対して、各県の三学会の会員（特に大学教員・研究者や支部委員を中心に）で話し合ってもらい、各県の意見を6月末までにまとめることに決定した。

三学会合同大会の内容について

- ・ 三学会合同大会において学会間での交流が少ないことから、三学会の形式として以下のスケジュールが提案された。

初日	午前	各学会 委員会
	午後	全学会合同でのポスター発表
		各学会 総会
		全学会合同での特別講演
		全学会合同での懇親会
二日目	午前	各学会に分かれての口頭発表
	午後	解散

- ・ 上記の案により、初日の昼に学会間での学術交流ができるので、懇親会でさらに交流が深められ、またポスター賞を設けることができることで、三学会合同大会がさらに活性化することが期待される。
- ・ 上記の案を採用するかどうかは、開催県の判断によるが、既に来年の開催県である佐賀には提案され、準備委員会で検討されることが報告されている（2011年5月24日現在）。

三学会合同例会について

- ・ 植物学会から「三学会合同例会は、会員数が少ない県で毎年行なうのは負担が大きいため」という意見が出された。
- ・ それに対し、動物学会から「動物学会は支部活動を活性化する方針」であることが報告された。
- ・ 会員数の少ない県では「例会を2年に1回にする」「1年に1回するが会員数の少ない学会の発表回数を減らす」「例会の代わりとして高校生の発表会や高校生の体験実習を行なう」などの案が出され、最終的には各県の三学会会員で例会の実施方法を決定してもらうことになった。

（文責：金子）